

## 胸に刻もう『カスリン・アイオン台風70年』

大雨による洪水がひとたび発生すると、甚大な被害のおそれがあります。治水施設などの整備により洪水被害は軽減されましたが、近年異状気象による短時間の集中豪雨や局所的な大雨が降ることもあり、災害への備えはとても大事です。

そのため、「カスリン・アイオン台風」から「70年」を節目に、これまでの水害を振り返り、これからの防災について住民一人一人がしっかり認識し、『風化させない歴史とつなげる未来』を胸に刻む取組みを実施します。

### 1. 主な取組内容

- これまでの水害の記憶や教訓を後世に伝えるための『語る会』や『パネル展』等を開催します。
- 適切な避難行動を実践するための『住民参加の実践的な訓練』等を実施します。
- 地域の水害リスクや防災に関する知識を普及するための『シンポジウム』や『出前講座』等を開催します。
- 人命と財産を守る治水施設の役割を認識するための『現地見学会』等を開催します。

### 2. 実施期間

平成29年度の1年を通して実施します。

### 3. 実施体制

当時、甚大な被害が発生した一関市と岩手県、岩手河川国道事務所が中心となり実施するほか、北上川流域市町村やNPO団体などと連携・協力し、流域全体が一丸となる取組みを目指します。

### 4. ロゴマーク

本取組みを広く周知するとともに、取組み意識の啓発を図るため、ロゴマークを作成しました。

本取組みの趣旨をご理解いただくとともにご協力を頂ける場合には、このロゴマークをご活用ください。

詳細については、「別紙」をご覧ください。

### 5. その他

各行事の詳細については、改めて記者発表いたします。

また、取組み開始の行事として、平成29年3月12日(日)に、一関市の主催で『防災フォーラム』が開催されます。

<発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、一関市政記者クラブ>

### 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所  
〒020-0066 盛岡市上田四丁目2-2 TEL:019-624-3166 (課直通)

岩手県 調査第一課長 岩 沢 博 章  
岩手県 県土整備部 河川課  
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL:019-629-5901

一関市 河川海岸担当課長 馬 場 聡  
一関市 建設部 治水河川課  
〒021-8501 一関市竹山町7-2 TEL:0191-21-2111

治水河川課長 那 須 勇

# 『カスリン・アイオン台風70年』ロゴマーク



## 胸に刻もう

# 『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～

### ➤ デザインとコンセプト

青い線は「北上川」と「支川」、緑の線は「整備された堤防」、水色の渦は「大型の台風」をイメージし、「70年」の歳月を表現しました。

水害の記憶や教訓を風化させず伝承するとともに、これからの防災を地域住民としっかり考え、「被害の最小化」を目指す思いが込められています。

### 【ご活用にあたって】

本取組の趣旨をご理解いただくとともにご協力を頂ける場合には、このロゴマークをご活用ください。

また、ご活用の際は、以下までご連絡下さい。

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

調査第一課 『カスリン・アイオン台風70年』担当窓口

〒020-0066 盛岡市上田四丁目2-2

TEL:019-624-3166 (課直通)